＜第４４０７回＞
目的地：明神平(台高)：伊勢辻コース
担当者：山本
実施日：２０２３年９月１７日（日）～１８日（月）
形　式：集中登山（テント泊）
費　用：¥4,260.-（鶴橋駅発着、交通費¥3,260.-　食費その他¥1,000.-）
参加者：７名

行　程：
17日（天気：晴）
鶴橋駅(7:09)⇒(8:00)榛原駅(8:18)⇒(8:38)菟田野(8:40)⇒(9:24)大又(9:38)→(10:07)和佐羅滝(10:24)→(11:02)H735m付近(11:08)→(12:00)二俣[昼食](12:33)→(13:06)H1110m付近(13:15)→(13:38)三度小屋辻(13:48)→(14:13)伊勢辻山(14:27)→(14:54)赤ゾレ山(14:58)→(15:13)馬駈ヶ辻の手前のポコ(15:21)→(16:03)国見山(16:15)→水無山(16:39)→明神平(16:50)　　[18:30夕食　21:00就寝]

18日（天気：晴後曇）[5:00起床・朝食]
明神平(7:10)→(7:27)前山(7:32)→(8:08)P1334mの手前のポコ(8:15)→(8:46)薊岳(9:12)→(9:54)木屋ノ尾頭(10:00)→大鏡池(10:17)→(10:37)H1030m付近(10:41)→(11:07)古池辻(11:20)→(12:02)笹野神社(12:11)→(12:35)やはた温泉[入浴・食事](15:25)⇒(15:50)菟田野(16:36)⇒榛原駅(16:57) [解散]

感　想：
　大又で支度を調えてバスで来た道を少し戻り和佐羅滝へ向かいます。30分ほどで滝に到着。水量も多くてなかなかの迫力でした。滝の上へと続く道があったので登っていくとより見事な滝がもう一つありました。二段になっていたんですね。十分にマイナスイオンを浴びて出発。林道に上がるまでの道が不明瞭でしたが林道に上がるとそこからは又迫谷に沿ってなだらかな道が続いていましたので、とても登りやすかったです。とはいえ共同装備のテント泊は長らくご無沙汰だったので、みんなの歩みは遅くて伊勢辻山に着いたのが14時過ぎ。まだまだ先は遠いので赤ゾレ山はトラバースして行くつもりがその道を見つけられず気がついたら赤ゾレ山に登っていました。戻るのも面倒なのでそのまま登ることに。山頂にたどり着いてみると広々とした山頂で眺めも良くて、しんどかったですが登って良かったです。その後国見山、水無山と思った以上にアップダウンの繰り返しがみんなの体力をさらに奪い、明神平に到着したのは17時。これは高見コースの面々を待たせて申し訳ないなぁと思っていたら高見コースのメンバーが見当たらない。仕方ないのでテントを設営し水汲みをして待っていたら、17時半くらいにようやく高見峠コースのメンバーが到着しました。理由は高見峠コースの報告書をご覧いただければわかると思いますので、そちらをご覧ください。
　18時半頃から夕食。コロナ禍のテント泊で個人テント・個食が続いていましたが、久しぶりの共同での夕食。やっぱり、みんなでわいわい言いながら鍋を囲んで食べるとおいしいですね。賑やかな夕食は楽しかったです。夕食の食べ始めも遅かったし、みんな久しぶりのテント泊で疲れもあったのか、食後は早々に就寝となってしまいました。
　二日目も天気が良く薊岳に向けて出発。前山を越えて快適な尾根歩きが続きましたが、薊岳の登りになると少しキツかったです。薊岳の山頂に到着。印象的な一本の枯れ木はまだ健在でした。そこから大鏡池まで少しアップダウンが続き、また歩みが遅くなります。二日目、明神平から大又までのコースタイムは山と高原地図では2:30ですが、そんなんでは絶対にたどり着けません。みんなのぼやきが聞こえていました。大鏡池からの下りも結構時間がかかりました。古池辻あたりで少し雨が降り出してきました。お湿り程度の雨でしたが、これが災いしたのかそこから先ヤマヒルがわんさかと出現して笹野神社の舗装道路に出たところでみんなヤマヒル駆除に大忙し。私は靴の上に３～４匹いた程度でしたが、何人かはヤマヒルにやられていたようです。12時半頃、やはた温泉に到着。二日間の汗を流して、食堂いちえで美味しい昼食を頂いて帰路につきました。鮎、美味しかったです(=^^=)

＝＝みんなの感想＝＝

久しぶりの泊り山行、装備の点検をちゃんとしていなかった為ザックの紐が切れ大丈夫なのか？っと最初から不安になりましたが何とか二日間歩けました。
物は劣化、身体は老化(笑)を感じましたが綺麗な夕焼けと星空が見れ、やっぱり山で泊まるのはいいものだと思いました。他のテント泊の方が居なかったら、もっとウダウダしたかったなぁ～
皆様お世話になりました。特に男性たちには荷物沢山持っていただき感謝です。（Ｓ）

久し振りの明神平での集中登山。水無山からの下りで明神平を見下ろして「ただいま～」

薊岳へ登る斜面から振り返って「またくるね～」
下山後温泉に入って、ビールを飲みながら「山岳会の集中登山なんだから、こうでなくっちゃね」
と思うものの、体力がついて行けるかどうか・・・悩ましい。（Ｓ）

体力の準備ができないまま参加。不安的中、「やっと国見山に着いた！」と喜んだのが、
まだ行程の半分程の伊勢辻山。何度か来てるけど　こんなに遠かったっけ？
へろへろでたどり着いた明神平。でも、やっぱいいネ👍
夕食が遅かったこともあって、夕食が済むと皆さんサッサとテントに引き揚げてしまう。
ポツンと一人で満天の星空を見上げながらチビチビ。いいネ👍　（Ｔ）

遠出の山で、山小屋の発電機の音が聞こえ出したり、屋根が見えてくるとほっとしますが、明神平のあしび山荘や東屋が近づいてくると、いつも、それと同じ思いになります。自分にとっては、大切に思える心の声です。とてもしんどかったけど、コッフェルで煮込まれた料理はおいしかったし、なかなか寝付かれなかった長い夜だったけど、気が付けばさわやか朝でした。
贅沢を言えば、もうちょっと明神平ゆっくりしたかったです。（Ｎ）

久しぶりに見るサザエさんの家の箱庭の景色は、以前と変わらずそこにありました。たくさんの思い出が一度に脳内を駆け巡ります。「行ける時に行っておこう。今年で終わりにしよう。」そう考えていましたが、来年も来れるようにがんばろうと自然と思っていました。明神平いいところ。ありがとう。
お世話になったみなさまにもありがとう。（Ｗ）

前に集中登山で明神平に来たのはいつだった？もうずいぶんと前のこと。和佐羅滝からの伊勢辻コースは沢沿いの道で、暑さは凌げたけれど長かった。帰りは、最初は景観よく快適だったけれど、そのあとの樹林帯が長いしヒルにもやられた（涙）。けれど、明神平で仲間と鍋を囲んで食べる楽しさと満点の星空は格別で、また行きたくなる。行けるかな。（Ｙ）

特　記：会主催行事のため装備費は無料。
集中登山補助費：¥26,550.-
やはた温泉入浴料　¥5,000.-回数券購入11枚）
食堂いちえ昼食代 ¥21,550.-（含むビール代など）